

一般社団法人 日本家政学会 家族関係学部会ニューズレター  
Council on Family Relations, Japan Society of Home Economics



2024 年度 第 1 号 2024. 7. 29 発行



編集 大石 美佳

発行 家族関係学部会事務局

\*\*\*\*\* INDEX \*\*\*\*\*

- 部会長より
- 会計より
- 第 44 回家族関係学セミナーのご案内
- 2023 年度事業報告
- 編集委員会より
- 2023 年度収支決算書

\*\*\*\*\*

☆☆☆ 部会長より ☆☆☆

李 璟媛 (岡山大学)

2024 年度の第 44 回家族関係学部会セミナーは、10 月 26、27 日の 2 日にわたり、東京家政学院大学を会場校として、対面とオンラインによるハイブリット形式で開催される予定です。井上清美実行委員長はじめ委員の先生方が準備を進めてくださっています。1 日目の公開シンポジウムのテーマは「人生をどう締めくくるのかー終活ブームの背景にある家族と社会の変化ー」です。「人生 100 年時代」と言われる今日において、生のみならず、継承、葬儀、墓、終活など、死をめぐる自己決定について考えることは、個人にとっても、家族にとっても、さらに地域社会においても、重要な今日的テーマだと思います。今回のシンポジウムも充実したプログラムで構成されていますので、部会員のみなさまと一緒に情報を共有、議論できることを楽しみにしています。

2024 年は、公式的に 2007 年からスタートした韓国家族関係学会との学術交流の年です。今年度は韓国側からの招へいをいただき、準備しているところです。韓国のシンポジウムのテーマは、「AI と家庭生活」という、これも非常に今日的なテーマになっています。学術交流の様子につきましては、また後日ご報告できればと思います。

ただいま、私たち部会の情報は、「日本家政学会」HP の「部会一覧」、「動画で見る家政学会の活動」における「家族関係学部会」ページと「日本家政学会家族関係学部会」の HP にて発信しています。これからも部会の活動をより魅力あるものとして発信できるよう部会員のみなさまから知恵をお借りできればと考えています。引き続きご協力よろしくお願ひいたします。

最後になりますが、10 月に東京家政学院大学で開催される家族関係学部会セミナーで、みなさまとお会いできることを楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

# 第44回家族関係学セミナーのご案内

第44回家族関係学セミナー実行委員長 井上清美（東京家政学院大学）

## ■日程およびプログラム概要

1日目 10月26日（土）13:00～16:00 公開シンポジウム

16:30～17:30 総会

2日目 10月27日（日）午前 自由報告【1報告につき 報告時間18分、質疑応答5分】

※2日目の時間は演題数により確定します。9月発送のプログラム及び部会HPにてご確認ください。

## ■会場

東京家政学院大学 千代田三番町キャンパス

〒102-8341 東京都千代田区三番町22

## ■公開シンポジウム

テーマ：「人生をどう締めくくるのか—終活ブームの背景にある家族と社会の変化—」13:00～16:00

司会 藤崎宏子（元お茶の水女子大学）・安藤究（名古屋市立大学）

報告1 井上治代氏（東洋大学現代社会総合研究所 客員研究員）

「死後福祉」をつくる—無縁社会における支援システム—（仮題）

報告2 渡邊千恵子氏（尚絅学院大学教授）

変容する家族と葬儀—今、葬儀に求めること—（仮題）

報告3 星野哲氏（立教大学社会デザイン研究所 研究員）

財産の家族的継承と社会的継承—死をめぐる自己決定について—（仮題）

討論 安藤究（名古屋市立大学教授）

※公開シンポジウムの詳細については、9月にお送りするプログラムにてお知らせいたします。

## ■自由報告の募集

10月27日（日）に行われます「自由報告」の報告者を募集します。自由報告を希望される方は、下記のQRコード、もしくはgoogleformのリンクからお申込みください。なお、発表要旨集を作成いたしますので、要旨原稿の作成方法等につきましては、報告申込者に後日ご連絡申し上げます。セミナー参加者同士の交流を重視し、原則、発表は千代田三番町キャンパスから「対面」で行います。オンラインでの発表をご希望の方は個別にお問い合わせください。できる限りご希望に沿えるよう配慮いたします。



第44回家族関係学セミナー  
自由報告申込みフォーム→

フォームのリンク <https://forms.gle/sjMfhfNev92C4TzU8>

問い合わせ先：44kazokukankei@gmail.com

自由報告申込み期限：2024年7月31日（水）必着

報告要旨の締め切り：2024年8月31日（土）必着

#### ■プログラムのご案内と参加申込み

「プログラムのご案内と参加申込み」は9月上旬に発送する予定です。参加費、自由報告の申し込み等、詳細につきましては、6月中旬に送付しました「第44回家族関係学セミナーのご案内と自由報告募集のお知らせ」をご覧ください。

#### ■連絡先：第44回家族関係学セミナー実行委員会事務局

〒102-8341 東京都千代田区三番町22 東京家政学院大学現代生活学部 井上清美

E-mail：44kazokukankei@gmail.com

### ★☆☆ 編集委員会より ☆☆☆

表 真美（編集委員長／京都女子大学）

編集委員会は、8人体制で、『家族関係学』No. 43の12月刊行に向けて編集作業を進めています。

42号は、比較的多くの論文のご投稿を頂きました。お忙しい中、査読をお引き受け頂いている部会員の方々には厚く御礼申し上げます。**44号の投稿締め切りも例年通り、2025年3月末日の予定**ですので、最新の投稿規定・執筆要項をご確認いただき、ぜひ今からご準備いただきますよう、何卒よろしくお願い致します。

また、書評・文献紹介では、**本年5月1日から来年4月30日**までの間に刊行された、部会員が執筆に関わったすべての文献を対象として検討します。皆さまには編集委員会宛てに積極的に献本いただくなど、多くの情報をお知らせくださいますようお願い致します。

刊行後の編集作業として、部会誌の発送業務、さらにJ-STAGEへの電子ジャーナル登載があります。刊行後、当該年度内にすみやかに公開しており、既に42号を登載しました（現在27号から42号までを登載）。また、26号以前の既刊号も順次計画的に登載する予定です。電子ジャーナルは、下記サイトからご覧頂けますので、ご確認下さい。

[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/\\_pubinfo/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja)

ご不明な点、ご要望等がございましたら、以下のアドレスまでご連絡下さい。ぜひ忌憚のないご意見をお寄せ下さい。

『家族関係学』編集委員会 E-mail: edit@kazokukankeigaku.jp

★ ☆ ★ 会計より ☆ ★ ☆

森田 美佐 (会計/高知大学)

2024年度部会費として5,000円(学生会員2,000円)を請求させていただきます。請求書は6月中旬に送付しています。払込取扱票にて納入くださいますようお願いいたします。前年度までの未納分のある方には、納入いただく金額を「年会費納入のお願い」に記載しております。

2024年度に学生会員として入金を希望される方は、学生証の写しを郵送、画像・PDFファイル添付のいずれかの方法で、家族関係学部会事務局まで提出をお願いいたします。提出期限は2024年8月20日(火)までとさせていただきます。なお、学生会員の場合は2年分の会費を前納することはできません。

ご不明の点がございましたら、下記までご連絡ください。

年会費振り込み先：(郵便振替) 00310-6-30229 家族関係学部会  
連絡先：高知大学教育学部 森田美佐 〒780-8520 高知市曙町2-5-1  
Tel：088-844-8421 E-mail：inquiry@kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

★ ☆ ★ 庶務(会員管理担当)より ☆ ★ ☆

山下 美紀 (庶務/ノートルダム清心女子大学)

○ご住所・ご所属・会員区分の変更、入・退会のご希望、メンバーリスト(ML)へのメールアドレスの登録・変更がございましたら、家族関係学部会事務局までご連絡ください。

○バックナンバーの購入について

「家族関係学」の在庫は、30号(9冊)、31号(8冊)、32号(9冊)、33号(6冊)、34号(10冊)、35号(10冊)、36号(5冊)、37号(31冊)、38号(21冊)、39号(53冊)、40号(43冊)、41号(50冊)42号(17冊)です。1冊2,000円で購入できます。購入希望の方は、下記の連絡先までお知らせください。ご所属の図書館等の蔵書としてもお買い求めいただきますようお願いいたします。

なお、『家族関係学』の在庫の保管・販売は、ヨシミ工産株式会社東京事務所に業務委託しています。購入希望者の方には、ヨシミ工産株式会社より郵送されます。

連絡先：ノートルダム清心女子大学 山下美紀  
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 Tel:086-252-2142 Fax:086-252-5145  
E-mail: inquiry@kazokukankeigaku.jp (家族関係学部会事務局)

☼+++++++++

**家族関係学部会**

メールマガジン配信アドレス：info@kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会事務局アドレス：inquiry@kazokukankeigaku.jp

家族関係学部会ホームページURL：http://www.kazokukankeigaku.jp/

☼+++++++++

## 2023 年度事業報告

### 1. 研究発表会、公開講演会等の開催

#### (1) 研究発表会

2023 年 10 月 28 日、29 日に徳島文理大学を会場として、対面およびオンライン (Zoom) によるハイブリット形式で開催した。自由報告は 1 会場で 8 報告 (対面 5 報、オンライン 3 報) が行われた。参加者 45 名 (対面参加 26 名、オンライン参加 19 名)

#### (2) 公開講演会・シンポジウム等

「家族関係学セミナー公開シンポジウム」の開催

2023 年 10 月 28 日 (土) に、対面およびオンライン (Zoom) のハイブリット形式で開催した。

(開催校：徳島文理大学)

テーマ「家族と地域コミュニティの融和的未来」

シンポジストと報告タイトル

基調講演：「人口減少社会における『家族』と『地域』」 田口太郎氏 (徳島大学・教授)

第 1 報告：『子どもの居場所』が育む『家族』と『地域』 木村直子氏 (鳴門教育大学・准教授)

第 2 報告：「親子一緒に受け入れる伊座利流の漁村留学の取り組み」 草野裕作氏 (伊座利の未来を考える推進協議会・事務局)

第 3 報告：「高校生と地域共生～ミニカフェ活動 15 年の実績」 寺奥敦子氏 (徳島文理大学・准教授)

参加者 127 名 (対面参加 92 名、オンライン参加 35 名)

### 2. 部会誌の刊行

『家族関係学』No.42 2023 年 12 月 22 日発刊 210 部

### 3. 研究及び調査の実施

本年度実施せず。

### 4. 内外の関連学協会との連携及び協力

本年度実施せず。

### 5. 出版

本年度実施せず。

### 6. 『家族関係学』の J-STAGE 掲載

『家族関係学』No.42：2024 年 3 月 20 日、No.27・28：2024 年 4 月 17 日に掲載

### 7. その他、目的を達成するために必要な事業

ニューズレターの発行 2 回 2023 年 6 月 22 日、2024 年 2 月 21 日

メールマガジンの発行 2 回 (第 25～26 号) 2023 年 6 月 8 日、9 月 12 日

ホームページの更新 10 回

2023 年 3 月 6 日、3 月 17 日、4 月 7 日、6 月 23 日、9 月 7 日、9 月 13 日、11 月 22 日、12 月 6 日、2024 年 2 月 16 日、2 月 27 日

### 8. 会員の状況 (2024 年 3 月 31 日現在)

会員総数 168 名 (正会員 152 名、名誉会員 5 名、学生会員 11 名)

### 9. その他

部会紹介の動画作成と公表 (日本家政学会 HP、部会 HP)

以上

＜③家族関係学部会＞2023年度決算書						
(2023年4月1日から2024年3月31日まで)						
(単位：円)						
科 目	注 意	予算	決算	差異	備考	
一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	(本部のみ)					
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息					
入会金						
年会費		770,000	727,000	43,000	ゆうちょダイレクトより	
会誌購読料		32,340	30,030	2,310	ゆうちょダイレクトより	
大会等参加費		285,000	244,500	40,500	セミナー報告書より	
広告料						
刊行物売上		2,000	0	2,000		
著者負担金						
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)					
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金	0	10,000	▲10,000		
特別寄付金	用途を限定した寄付金					
雑収入	普通預金利息	100	15	85		
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為に通信費も含む)					
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)					
本部からの活動助成費	活動助成金全額(税金も含む)	80,000	84,049	▲4,049	セミナー報告書より	
<b>経常収益計</b>		<b>1,169,440</b>	<b>1,095,594</b>	<b>73,846</b>		
(2) 経常費用						
<b>①事業費</b>		<b>1,109,000</b>	<b>877,215</b>	<b>231,785</b>		
大会会場使用料		40,000	0	40,000		
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)					
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い					
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	170,000	160,156	9,844	懇親会費+弁当代+茶菓子代	
大会印刷費						
大会研究発表要旨集作成費		75,000	0	75,000		
大会通信運搬費		30,000	0	30,000		
大会臨時雇賃金						
総会費						
セミナー・講演会等会場使用料		0	10,000	▲10,000		
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	120,000	89,096	30,904	外部講師関連料	
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	60,000	0	60,000		
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む					
セミナー・講演会等印刷費						
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費		0	35,200	▲35,200	要旨集関連費	
セミナー・講演会等通信運搬費		0	55,777	▲55,777	通信費+保険料	
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	0	48,000	人件費	
学会誌等関連印刷費		300,000	318,780	▲18,780		
学会誌等関連通信費		40,000	29,564	10,436		
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	11,000	▲1,000		
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		120,000	91,355	28,645		
研究補助費						
表彰費	奨励費等					
関連学会等会費						
会議費	会議用のお菓子、お茶等					
広報費	ホームページ等	50,000	44,947	5,053		
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	0	10,000		
事務委託費		30,000	26,400	3,600		
支払負担金	振込手数料	6,000	4,940	1,060		
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費					
<b>②管理費</b>		<b>80,000</b>	<b>36,681</b>	<b>43,319</b>		
給料手当		20,000	0	20,000		
福利厚生費						
旅費交通費	(本部のみ)					
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	30,000	20,698	9,302		
備品費						
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	10,000	2,233	7,767		
光熱水料費						
雑費	(本部のみ)					
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)					
地代	(本部のみ)					
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	20,000	13,750	6,250		
修繕費						
減価償却費	(本部のみ)					
リース料						
事務所管理費						
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)					
<b>③支部費</b>						
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)					
活動助成費						
<b>経常費用計</b>		<b>1,189,000</b>	<b>913,896</b>	<b>275,104</b>		
<b>当期経常増減額</b>		<b>▲19,560</b>	<b>181,698</b>	<b>▲201,258</b>		
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出)					
(2) 経常外費用	なのでほぼ該当なし)					
当期経常外増減額						
<b>当期一般正味財産増減額</b>		<b>▲19,560</b>	<b>181,698</b>	<b>▲201,258</b>		
一般正味財産期首残高	(2022年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,534,737	3,534,737	0		
一般正味財産期末残高	(2023年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,515,177	3,716,435	▲201,258		